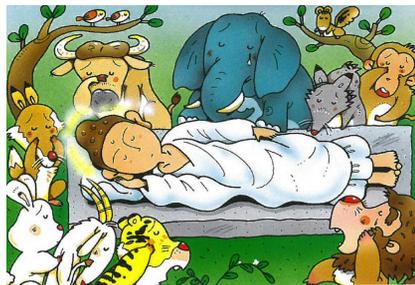




幼稚園では、3日に節分の本堂お参りをして健康祈願を行います。各クラスの豆まきでは、子どもたちも、自分たちで、紙袋や段ボール箱を使って作った鬼の面をかぶり「福は内、鬼は外」とみんなで豆まきをして、泣きむし鬼、風邪ひき鬼などの悪い鬼を追い出して、心身共に健康を願いながら楽しめます。また、暦のうえでは4日は立春ですが、寒さがもっとも厳しい2月を迎え風邪もはやってきましたので、お家でも健康に十分留意していただき、寒い冬をのりきってください。

### ね ほ ん え 涅槃会



お釈迦さまは、今からおよそ2500年前の2月15日沙羅双樹の木陰でお亡くなりになりました。

お釈迦さまは、多くの人々に正しく生きる道を教えられ、お釈迦さまが亡くなられてもその教えは、いつまでもほとけさまを拝む一人ひとりの心の中に生きております。

ほとけさまの教えをうたった詩に次の一節があります。

（ほとけの子2月号誌もご一読ください）

考え深い人間となろう  
どんなときでも自分でよくきき よくみて考えよう  
ほとけさまは智慧のひかり 深い考えからうまれた静けさ  
わたしたちは静かに落ち着いて考え  
何事も最後までやりとげよう  
知識だけでなく 身についた智恵をみがこう  
考え深い人間となろう

ぜんじょうせいじゃく

### 禅定静寂の保育

もし、あなたのご覧になっているテレビで、5秒間、同じ画面が続いたら、どうお感じになりますか？「ほんの5秒でしょ」とおっしゃるかもしれませんね。でも、こんなに短いときでも、多くの人がテレビ局のミスではないかと感じるのだそうです。

絶え間なく新しい刺激、より強い刺激が繰り返される「情報社会」の現在。その中で生きる子どもたちにとって「禅定静寂」は難しいことですが、だからこそ、たいへん重要なことなのです。

仏教で実践し、学ぶべき「三学」。「戒」「慧」と「定」も共に、そのひとつとしてお釈迦様ご在世の当時から重要視されてきました。心静かに落ち着くこと。そっと目を閉じて外から聞こえる音に耳を傾けること。

そうした場としても、仏教園での「礼拝」はおいおいに誇るべき大事な活動であり、環境です。もちろん子どもたちにとって、元気に活動することも大事です。しかし、このような「動」にただおもねってしまうのではなく、「静」の時間も、大事に育てていきたいものです。

合掌

### ◇ 2月の予定 ◇

#### △おわかれ遠足△

楽しみにしています遠足は、  
みかん・めろん・すみれ組、年中組：2月25日(火)  
年少組：2月26日(水)  
年長組：2月27日(木)に舎人公園へ行きます。  
詳細は後日お知らせいたします。年長・中・少組は家からのお弁当になりますので、忘れないようにお願いします。

#### ◆節分会・豆まき◆

2月3日(月)節分会での祈願で厄払いして、豆まきではかぜひき鬼や心の鬼を追い出して一年間健康ですごせるようにします。また、2月3日(月)は9:30頃から西願寺にて節分会法要〔豆まき(写真撮影)・境川部屋力士〕を行います。詳しくはたよりをご覧ください。

#### ☆埼玉県仏教幼児画展☆

「第35回埼玉県佛教幼児画展」が開催されますので、ご案内いたします。

日時 2月1日(土) 13:00~17:00  
2月2日(日) 10:00~16:00  
場所 さいたま市文化センター展示室  
さいたま市南区根岸1-7-1  
TEL 048(866)3171



#### ▽作品展▽

過日、作品展の素材(廃材)集めについて各クラスごとにご協力をお願いしましたところ、たくさんの素材を集めることができました。ご協力ありがとうございました。子どもたちは、作品展に向けて提供していただいた素材を使ってイメージをふくらませ、思い思いに組み合わせたりしています。製作を進めていく中で素材が足りない場合は担任より再びお願いすることもございますので、その節は宜しくお祈りします。尚、第37回作品展は2月8日(土)に開催します。当日は、土曜日ですが、登園日として出席扱いになります。指定時間内に登園していただきご覧ください。どうぞ家族揃って来園くださるよう、ご案内申しあげます。なお、準備等により2月7日(金)は1号・新2号認定児短縮保育、2月10日(月)は振替休園(1号・新2号認定児)となりますのでご了承ください。(後日、作品展特集号を配布します)